

平成21年度各会計決算を認定

市議会9月定例会が9月2日に招集され、22日までの21日間の会期で開かれました。上程された議案は、顕彰の授与や、平成21年度一般会計および各特別会計決算認定、平成22年度一般会計および各特別会計補正予算など25件です。すべて原案のとおり可決、承認されました。

上程された主な議案

◇にかほ市顕彰の授与

にかほ市に多大な功績のあった2氏に対し顕彰を行うことが可決されました。

阿部 辰一 氏(杉山)
大野 亮一 氏(神奈川県)

※両氏の功績については、次号で紹介いたします。

◇人権擁護委員の推薦

12月31日で任期満了となる、森りえ子氏(大須郷)を引き続き候補者として推薦することに同意されました。

◇平成21年度にかほ市一般会計各特別会計、各企業会計の歳入歳出決算の認定

平成21年度各会計歳入歳出の決算認定が承認されました。

◆健全化判断比率及び資金不足比率の報告

地方公共団体の財政の健全化に関する法律の規定により、一般会計等の平成21年度健全化判断比率及び公営企業等の平成21年度資金不足比率を報告しました。平成21年度もすべての比率が、健全段階になっています。

※平成21年度各会計決算と健全化比率等の詳細については今後、市ホームページや広報でお知らせする予定です。

◇平成22年度一般会計補正予算(第3号)

歳入歳出それぞれ7億5,104万5千円を追加し、補正後の予算総額は、151億7,288万円となりました。歳出補正の主なものは、地デ

ジ対応に向けた、無線システム普及支援事業費等補助金などへの1,799万6千円の増額や、由利組合総合病院の受診者利便性向上のため、地域医療再来受付システム補助金として1,360万円、日沿道建設工事に伴う、金浦一般廃棄物最終処分場への給水管入替設計業務と工事費に1,581万7千円、補正対応としていた除雪費に9,289万6千円の追加などです。

主な市政報告

市長市政報告より抜粋

◆普通交付税について

22年度の普通交付税は、49億3,417万5千円と算定され、前年度確定額に対し、10・1%、4億5,117万6千円の増となつていきます。

当初予算では、国の「地域活性化・雇用等臨時特例費」による1兆1千億円の増額支援策を考慮するとともに、基準財政収入額および需要額の増減、臨時財政対策債の大幅な増加を加味し、前年度確定額に比べ、0・4%増の45億円を計上したところです。

◆市税の状況について

7月末における調定額は、個人市民税が前年度比15・2%減の約9億4,500万円です。法人市民税は同82・4%増の約8,100万円、景気の回復傾向が幾分見えてきたと考えています。固定資産税は同3・8%減の15億4,800万円です。

なお、給与所得等減少により個人市民税を1億538万5千円の減額補正しています。

◆保安林への課税誤りについて

固定資産税の納税義務者から「非課税である保安林へ課税されているのでは」との問い合わせがあり、県の台帳と照合・調査したところ、納税義務者数で54名、筆数で86筆の保安林への課税誤りが判明しました。

市では深くお詫び申し上げるとともに「にかほ市固定資産税等に係る過誤納金支払要綱」に基づき、10年前まで遡及し、利子相当額を加算して還付したいと考えています。

市税務行政の信頼回復のため、二度と起こさないよう担当部署との連携を密にして、適正な事務処理を徹底し、再発防止に努めてまいります。

◆社会福祉施設の整備について

社会福祉法人・明星福祉会が金浦地域に整備する特別擁護老人ホーム「陽光苑」は、5社の指名競争入札の結果、第一建設工業(株)が5億7,595万円あまりで落札し、来年4月1日の開設予定で工事が進められています。12月までには、パートも含めて約40名の職員を雇用する見込みです。

◆民生・児童委員の一斉改選

民生委員・児童委員並びに主任児童委員の任期が11月30日までになっていることから、一斉改選に向けて候補者の推薦事務を進めています。

改選後におけるにかほ市の定数は3地域それぞれ2名の主任児童委員を含め、仁賀保地域が32名、金浦地域が14名、象潟地域が40名の計86名で、現在と同数です。区域間の関わり合いや委員の活動効率などを考慮し、担当区域の見直しも併せて行っています。

◆にかほ市合併五周年・仁賀保中学校竣工 記念式典

「にかほ市合併五周年・仁賀保中学校竣工記念式典」を10月1日に開催する予定です。これまで各分野で市の発展にご尽力いただいた功労者への顕彰授与、表彰を行い、併せて仁賀保中学校の竣工をお祝いすることとしています。



仁賀保中学校校舎

◆緊急雇用対策について

今年度も、国の雇用対策交付金を活用した事業を実施していきます。

8月現在の雇用状況は、原則1年以上の雇用期間で、継続的な雇用機会を創出する「ふるさと雇用再生臨時対策基金事業」で、13事業で継続雇用を含め延べ57名、原則6カ月未満の雇用

◆来春高校卒業予定者の求人状況等について

期間で短期間雇用の「緊急雇用創出臨時対策基金事業」で、28事業で延べ147名となつていきます。

県内求人受付は6月21日から各ハローワークで開始されています。7月末現在、ハローワーク本荘の求人受付状況は30事業所88名で、昨年の14事業所38名を上回っています。有効求人倍率は秋田県全体で0・45倍、ハローワーク本荘管内では0・35倍と、いずれも厳しい状況には変わりありませんが、ここ1年、上昇傾向にあります。

にかほ市民の求職登録者は495名で前年比373名の減となつていきます。

◆集中豪雨による被害について

8月25日、午前2時から降り始めた雨は、消防署の雨量計で、午前3時ころまでの1時間雨量が95mmを計測する記録的な集中豪雨となりました。この雨により、金浦地域では住家床上浸水3棟、同床下浸水15棟、非住家の浸水6棟と、被害を受けました。ほかに道路災害12カ



集中豪雨により冠水した道路

所、河川災害3カ所、農地・農業用施設の法面崩落6カ所などの被害が発生しています。被害に遭われた市民の皆さんには、心よりお見舞い申し上げます。

◆日沿道山形・秋田県境区間建設促進期成同盟会について

昨年10月、酒田市、遊佐町、にかほ市、由利本荘市、秋田市による日沿道山形・秋田県境区間建設促進期成同盟会を発足しました。これは、山形・秋田県境区間の整備促進に特化した同盟会で、ことは10月3日に遊佐町で建設促進大会を開催します。市民の皆さんからも多数参加していただき、官民一丸となつて早期実現に向けて取り組んでまいります。